

平成27年産米集荷経過報告

1等米比率 83.9% (平成27年10月22日現在)

1. 検査概況

単位:俵 (60kg)

種類	1等	2等	3等	規格外	合計
魚沼産コシヒカリ	81,314.3	12,702.7	545.5	173.5	94,736.0
一般コシヒカリ	26.0	0.0	0.0	0.0	26.0
こしいぶき	917.4	32.5	0.0	0.0	949.9
その他うるち	41.0	81.5	8.0	0.0	130.5
もち米	309.0	176.5	0.0	4.0	489.5
酒米	1,151.0	1,091.5	96.5	0.0	2,339.0
加工用米	2,125.5	867.5	18.5	0.0	3,011.5
備蓄米	1,750.0	668.5	49.0	0.0	2,467.5
米粉用米	1,915.5	232.0	11.0	0.0	2,158.5
輸出用米	1,813.5	681.0	26.0	0.0	2,520.5
学校給食米	386.5	167.0	0.0	0.0	553.5
合計	91,749.7	16,700.7	754.5	177.5	109,382.4
等級比率	83.9%	15.2%	0.7%	0.2%	100.0%
格落原因	①除青未熟粒 ②心白粒 ③胴割粒				

作柄・品質概況

田植え直後は気温が高く、苗の活着は良好でした。6月に入っても気温が高い日が続き、生育も順調に進みました。そのため、研修会等では、生育状況により穂肥の実施を呼び掛けました。

出穂期にあたる8月上旬には気温の高い日が続き、飽水管理の徹底を呼びかけましたが、一部の圃場(ほじょう)では高温障害による、心白粒の発生が見受けられました。また、8月下旬の日照不足や低温の影響を受け、未熟粒が多く見受けられました。

粳の混入や水分過多などによる格落ちも見受けられましたので、丁寧な調整をしましょう。

2. 集荷概況

単位:俵 (60kg)

種類	予約数量	集荷実績	集荷率
J A米うるち	104,806.0	96,915.8	92.5%
J A米もち	462.5	478.5	103.5%
一般米うるち	324.0	1,092.0	337.0%
一般米もち	0.0	7.0	—
加工米うるち	4,256.0	2,668.0	62.7%
加工米もち	343.5	343.5	100.0%
備蓄米	4,669.5	2,467.5	52.8%
米粉米	2,180.5	2,158.5	99.0%
輸出米	4,672.0	2,520.5	53.9%
飼料米	333.0	286.5	86.0%
学校給食米	835.0	553.5	66.3%
規格外米	0.0	177.5	—
合計	122,882.0	109,668.8	89.2%

3. カントリーエレベーター受入実績 (生粳・トン)

第1カントリー	第2カントリー	片貝カントリー	合計
1,394.1	1,446.4	1,301.4	4,141.9